

(様式 1)

令和6年度指定管理者による公の施設の管理状況評価表

1 施設名 (所管課)
立山自然保護センター 自然保護課

2 施設所在地
中新川郡立山町芦嶮寺 (室堂平)

3 施設設置年度
平成12 年度

4 設置目的
立山の優れた自然環境及びそこに生息する貴重な動植物を広く紹介するとともに、これからの保護及び適正な利用に関する知識を普及し、併せて多様な自然を体験する活動への支援等を総合的に行い、もって人と自然との豊かなふれあいに資する。

5 施設概要
施設面積：891㎡
延床面積：924.45㎡
主な施設：展示室等 476.57㎡
1階：137.38㎡、2階：251.22㎡、3階：87.97㎡

6 指定管理者
立山貫光ターミナル株式会社

7 指定期間
3 年
令和5年4月1日 ～ 令和8年3月31日

8 利用者数及び利用（使用）料金収入の状況

(1) 利用者数（人） ※この他、参考となる指標があれば追加

R2	R3	R4	R5	R6
39,098	49,989	95,878	141,155	171,338

(2) 利用（使用）料金収入（千円）

R2	R3	R4	R5	R6
—	—	—	—	—

(3) 利用料金収入見込み額（利用料金制導入施設の場合）

R2	R3	R4	R5	R6
—	—	—	—	—

9 評価項目

(1) 利用者数・収入の増減に対する評価

利用者数は、令和5年度比121.3%と大幅に増加し、開館からの利用者は4,275,536人となった。旅行会社や立山黒部アルペンルート主催イベントへの協力など、利用者数増に努めた。

(2) サービス向上に向けた取組み

- ・博物館等の自然系の文化施設との連携強化を図り、企画展示や講演会を開催した。
- ・階段ギャラリーを活用した写真・パネルなどの展示を実施した。
- ・雨天等荒天時の児童、高齢者等の一時的退避場所として施設の一部を開放した。
- ・室堂駅と相互連絡を取り合い、利用者へのスムーズな誘導に努めた。

(3) 利用促進（収入増）に向けた取組み

団体客は、バス添乗員を通して施設の周知に努めた。

(4) 利用者のニーズ把握や苦情への対応

① アンケート結果

実施方法	・開館期間 ・来館者が任意で用紙に記入
回答者数	875人
結果	・「また利用したい」97.9% ・「このような施設があるとよく理解ができてより一層興味がわきます。」、「展示物は映像や音声が多く、見ごたえがありました。」 ・印象に残った展示物 ライチョウ関係34.8%、立山の信仰・歴史18.0% ・利用目的 自然解説ツアー53.4%
結果を踏まえた改善事項	特になし

② その他利用者の声を反映させる取組み

- ・直接聞き取り、電話、FAX、ブログにてニーズを把握し反映している。
- ・アンケート結果等を踏まえ、社内の企画活性化小委員会を開催し、自主事業等に反映している。
- ・自然解説ツアー参加者にもアンケートを実施し、その結果を共有し、利用者の満足度向上を図っている。

③ 主な苦情と対応

無

(5) 個人情報保護の取組み

個人情報に関する指針を定め、職員に周知を図っており、適切な個人情報保護が図られている。

(6) 関係団体との連携

- ・立山カルデラ砂防博物館、立山黒部ジオパーク協会、富山県立山博物館等との連携により、講演会、観察会等を開催した。
- ・立山黒部貫光株式会社、ホテル立山と連携し、利用者増に努めた。

(7) 施設・設備の維持管理

適切に管理されている。

(8) 危機管理・安全管理などの取組み

非常時の緊急連絡網を作成し、運用している。

10 所管課の管理運営確認状況

- ①定期報告の受理
- ②維持管理・運営状況等の担当職員現地確認
- ③個人情報に関するトラブルの有無
- ④危機管理・安全管理上のトラブルの有無

有／無	回数(有の場合)
有	8
有	5
無	—
無	—

【トラブルの具体的内容と対応】

無

11 今後の課題等（収入確保、経費削減、サービス維持向上等の観点から今後の課題を記載）

自然教育、自然保護に関して重要な役割を担う施設として、利用者の自然環境に対する意識の向上に引き続き努めていただきたい。
様々な企業や機関等との連携を広げ、利用者の意向も反映させながら、各種イベントの充実、サービス向上に努めていただきたい。
気象条件が厳しく、施設の維持管理に経費がかかるが、経費削減を念頭に業務内容を随時点検するとともに、機能維持に努めていただきたい。